学校番号	218

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅱに引き続き「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽Ⅱで培った感性と表現の技能を高めるために、主体性を持って取り組むことが大切です。音楽をより深く理解し、感性を磨き、表現の幅を広げましょう。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ポップスの特徴を理解して表情豊かに歌おう	【歌唱】 ・Progress ・アイノカタチ	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b: リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲にふさわしいイメージをもって歌う学習に関心をもち、歌唱の喜びを感じながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	観察 ワークシート
	表現を工夫して鍵盤楽器を演奏したり、弾き歌いをしたりしよう	【歌唱・器楽】 ・チューリップ ・どんぐりころころ	a:【知】ピアノ弾き歌いによる表現上の効果について理解している。 【技】曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け弾き歌いで表している。 b: 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	観察 ワークシート

	ミュージカルの魅力	【歌唱】 ・《夢やぶれて》 【鑑賞】 ・《レ・ミゼラブル》	a:【知】ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解している。 【技】曲想にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 旋律・リズム・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。またどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: ミュージカルという表現方法と曲にふさわしいイメージをもって歌う学習に関心をもち、主体的・協働的に歌唱と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	表現を工夫して合唱やヴォイスアンサンブルを楽しもう	【歌唱】 ・このみち	a:【知】合唱による表現上の効果について理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技術を身に付け、他者との調和を意識して歌唱で表している。 b: 和声の響きを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 ワークシート

	表現を工夫してギターを演奏したり、弾き歌いをしたりしよう	【歌唱・器楽】 ・オワリはじまり	a:【知】ギター弾き歌いによる表現上の効果について理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、弾き歌いで表している。 b: 音色、旋律、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	観察 ワークシート
	日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽を体験しよう	【鑑賞】 ・歌舞伎《白浪五人男》から〈浜松屋の場〉 ・世界の祭り	a:【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:旋律を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表演の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c:音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

	オスティナートを用いて作品づくりをしよう」	【創作】 ・オスティナートを用いてピアノ曲をつくろう	a:【知】オスティナートの特徴について表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするためにオスティナートの手法を活用して作曲する技能を身につけている。 b:オスティナートの特徴や反復、を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c:試行錯誤しながら創作する学習に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	リズムの重なり合いを感じ取ってアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ・Clap-Pat-Tap	a:【知】曲想と音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けるとともに他者との協働を意識して、リズム演奏で表している。 b: リズム・強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: リズムアンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	観察 ワークシート

	和楽器に親しみ、表現豊かに演奏しよう	【器楽】 ・島人ぬ宝	a:【知】曲想と三線の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】三線の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な楽器の技能を身に付け、演奏で表している。 b:音色やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 三線の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度